

## 第22期第31回 松浦海区漁業調整委員会 議事概要

1 日 時 令和6年3月28日(水) 15時30分～

2 場 所 唐津市水産会館 多目的ホール

3 出席者 松浦海区漁業調整委員

会 長	川 寄 和 正
会長職務代理者	池 田 宏 子
委 員	荒 卷 信 弘
〃	坂 本 安 則
〃	川 口 安 教
〃	梅 崎 博 昭
〃	宮 崎 雅 司
〃	坂 口 正 人
〃	後 藤 政 則
〃	福 良 繁 一

4 臨 席 者 海区漁業調整委員会事務局

事 務 局 長	江 口 泰 蔵
主 任 主 査	川 崎 明 弘

佐賀県玄海水産振興センター

種 苗 開 発 担 当 下 前 敦

5 議題及び議決事項

(1) 令和6年(2024年)度もじゃこまき網漁業の許可方針(案)について(諮問)

⇒原案どおり承認された。

(2) ぶり(もじゃこ)特別採捕許可方針(案)について(協議)

⇒原案どおり承認された。

(3) 特定水産資源(くろまぐろ)に関する令和5管理年度における知事管理漁獲量の変更について(諮問)

⇒原案どおり承認された。

(4) その他

⇒玄海水産振興センターから、藻場の現状について説明が行われた。

事務局から海区漁業調整委員会事務局の設置規定の変更及び次回委員会の日程について説明が行われた。

## 6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

### (1) 説明者

議題 1・2・3 川崎主任主査

議題 4 玄海水産振興センター下前技師、江口事務局長

### (2) 質疑応答

#### 【議題 1, 2, 3】

質疑なし

#### 【議題 4】

〔後藤委員〕

県外でムラサキウニを駆除して、藻場が回復した事例はありますか。

〔下前技師〕

実際に研究報告などで報告されているものがあります。

〔後藤委員〕

P6 の図に身入りの写真がありますが、藻場の繁茂状況との相関はありますか。

〔下前技師〕

おおよそ相関はあると考えていますが、必ずしも海藻がたくさん生えているところが身入りがいい訳ではないと思います。ムラサキウニは、流れ藻を拾って食べる生態をしているため、藻が寄りやすい場所で身入りがいいと思います。

〔宮崎委員〕

産卵した卵はどれぐらいの広さに流れていきますか。

〔下前技師〕

おそらく海流に運ばれるので広く拡散していくと思います。浮遊期間が、少なくとも2週間あるため、その間海流に乗って拡散します。

〔宮崎委員〕

潰しても、他所から流れてくるっていう可能性は高いですか。

〔下前技師〕

それは実際にはありうると思います。

〔梅崎委員〕

自分のところは、頻繁に駆除しているが、対岸の漁場は駆除対策を行わないとなると、駆除しても他所から卵が流れてくることになり、永遠と駆除を続けられないといけなくなるが。

〔下前技師〕

そういう現状がある以上駆除を続けなければならないと考えています。

藻場も守れる範囲があると考えており、全ての海域を守ることはマンパワー的に難しいと認識しています。有望な漁場を残していく意味では駆除を続けることが重要であると思います。